

公共事業再評価事業別調査

担当所属	農林水産部	農村整備課
再評価実施要件	未着工 その他()	長期継続(農林水産省5年)

1 事業の概要

事業種別	農業農村整備事業	事業主体	県 市町村 その他()					
事業名	農村活性化住環境整備事業	地区名等	下田北部					
事業区分	補助事業等 単独事業	負担区分	国50% : 県25% : 市町村25% : その他 %					
採択年度	9年度(用地着手) 10年度、工事着手 9年度)							
終了予定	16年度(14年 3月計画変更<計画時 14年度>)							
事業目的	宅地化の進行による農地のスプロールが著しいことから、ほ場整備により創出された非農用地を宅地として確保することにより優良農地を維持するとともに、農業生産基盤及び農村生活環境の整備により住環境の快適性の向上、地域の活性化を図る。							
主要内容	農道(6路線)・集落道(17路線)L=11,363m 農業用排水路(1路線)・集落排水路(6路線)L=8,326m							
事業費	採択時総事業費 2,600百万円 単位:百万円							
		~ 11年	12年	13年	14年	小計	15年~	合計
	計画 (うち用地費) <14年3月変更>	1,225 (172)	190 (154)	370 (26)	350 (94)	2,135 (446)	613 (79)	2,748 (525)
実績 (うち用地費)	1,225 (172)	190 (154)	370 (26)	350 (94)	2,135 (446)	613 (79)	2,748 (525)	
その他	(申請事業における同意率等) 当初 農道 93.70% 計画変更 農道 96.20% 用排水路 91.30% (H13) 用排水路 95.50%							

2 評価指標及び項目別評価

(1) 事業の進捗状況

A A · A · B · C

事業の進捗状況	単位: %		
		計画全体に対する進捗	年次計画に対する進捗
	事業費割合 (うち用地費)	77.7 (85.0)	100 (100)
	工種毎割合 (主要工種)	農道・集落道 75.0 農用排・集落排水 67.7	100 100
説明	計画どおり進捗している。		
問題点・解決見込	なし		
事業効果発現状況	工事の完了した路線から供用を開始しており、所期の事業効果を十分に発現している。		

(2) 社会経済情勢の変化

A A · A · B · C

社会的評価	全国: 宅地開発に伴う優良農地のスプロール的なない廃を未然に防止し、優良農地を確保するとともに生活環境整備による農村の快適な住環境が求められている。 県内: 優良農地の確保と、農村の生活環境の整備は今後とも必要である。 地域(関係市町村、受益者等): 本地域は、ベッドタウンとして宅地化が進んでおり、優良農地の確保とともに、早急に道路や排水路等の整備が必要である。		
予算動向	国: H14/H9=102% 優良農地の確保や定住化を図ることが求められていることから、 県: H14/H9=105% 国・県ともに予算が伸びている。		
必要性等	計画時	再評価時	左の説明
必要性	優良農地の確保や農村における住環境の快適性の向上を図るため、総合的な農村整備が必要である。	優良農地の確保や農村における住環境の快適性の向上を図るため、総合的な農村整備が必要である。	必要性は、計画時、再評価時ともに高い。
その他	なし		

(3) 費用対効果分析の要因変化

AA・A・B・C

費用対効果分析		計 画 時	再 評 価 時	増 減
	費用 (C)	723百万円	723百万円	
	効果 (B)	1,003百万円	1,003百万円	
	B / C	1.39	1.39	
変化内容	なし			
B/Cへの影響	なし			

(4) コスト縮減・代替案立案の可能性

コスト縮減の可能性	なし
代替案の可能性	なし

(5) 評価に当たり特に考慮すべき点

住民ニーズ把握状況	下田町からは、基幹となる排水路や、農道及び集落内の道路が未整備であることから、本事業による早急な整備を要望されている。なお、事業の実施に当たっては、受益者から同意を徴集しているとともに、受益者・地元関係者への説明会の開催などにより、合意形成を図っている。
環境影響への配慮	切土部及び盛土の法面を緑化し、自然環境に配慮している。
地域特性	本地域は、三沢市に接しているためベッドタウン化が急激に進んでおり、優良農地を確保するとともに、併せて快適な住環境の整備を図ることが急務である。

3 対応方針（事業実施主体案）

総合評価	継続 見直し継続 中止 休止 (農林水産省所管事業に限る)
評価理由	本事業は、優良農地の確保や農村地域の生活環境の整備を行うなど、地域に果たす役割が大きいことから、平成16年度の完成に向け継続して実施する。
備考	

4 公共事業再評価審議委員会意見

委員会意見	対応方針（案）どおり 対応方針（案）を修正すべき
委員会評価	継続 見直し継続 中止 休止 (農林水産省所管事業に限る)
評価理由	
附帯意見	